

ライトハウス英和辞典 第6版

全面改訂版
新発売!!

竹林 滋・東 信行・赤須 薫(編)
B6変型判 1824頁 2色刷 定価3,150円(本体3,000円+税) 発音解説+CD付き

収録語句
約7万



「ライトハウス英和辞典」は、従来より豊富な用例と丁寧でわかりやすい記述にご支持をいただいておりますが、5年ぶりの改訂となりました今回は、英語らしい英語表現には欠かせない「コロケーション」がさらに充実、円滑なコミュニケーションの鍵となる「ポライトネス」を新規特色として加え、より発信に役立つ辞典として生まれ変わりました。

▶ 新しくなった用例 ◀

よく使われる構文は優先的に表示し、
学習者に理解しやすい用例を示しています。

I have to **admit (that)** she was right.
[V+O((that)節)] 彼女が正しかったと認めなくてはならない (👑多用構文)
..... **admit** ① (p.18)

You should be **honest about** your feelings.
[+about+名] あなたは自分の気持ちに正直であるべきだ (👑多用構文)
..... **honest** ㊦① (p.666)

語法が理解しやすいよう具体例を添えています。

(4) [will [《英》ではまた shall] +be+-ing 形で未来進行形を表わす; ⇒ 巻末文法 6.2(3)]:

[語法] すでに決まった予定を表わすことがある: I **will be staying** at the same hotel next month. 来月も同じホテルに泊まることになっている / Will you **be attending** the party? パーティーには出席なさいませうか。
..... **be**² **A**① (p.111)

[語法] 《英》では一般的な好みを述べるときには [V+O(動名)] を、ある特定の状況でまたは習慣として…するのが好きだという意味のときには [V+O(to不定詞)] を用いる傾向がある: I **like working** as a potter. 私は陶芸家としての仕事が入っている《楽しみとして》 / I **like to keep** my room tidy. 部屋はきちんとしておくのが好きだ《習慣として》
..... **like**² ㊦① (p.807)

I don't **mind being** criticized, but I do **mind being** misunderstood. 批判されるのはかまわないが、誤解されるのは困る。 [語法] 肯定文は普通このような対比や次のような応答で使う
..... **mind** ㊦① (p.884-885)

言語の機能面を重視し、どういう文脈で
用いられるかの説明を添えています。

I found a really great wine. You've simply **got to** taste this! すごくいいワインを見つけたんだ。ぜひ味わってみて! 《🔑相手にとって望ましいことを強く勧める表現; ⇒ have to 3 🔑》
..... **have got to** ① (p.636)

The class wasn't very **interesting**. 授業はあまりおもしろくなかった 《🔑boringのような直接的な表現を避けて not very interesting と言うことも多い》
..... **interesting** (p.728)

[言い換え] I can't **thank** you enough. = I don't know how to **thank** you. ㊦お礼の申しようありません 《🔑「感謝しきれないほどありがたく思っている」という強調表現で、相手から大きな恩恵を受けたときに用いる》
..... **thank** ㊦① (p.1455)

日本人には思いつきにくいですがコーパスでは頻出する、
英語らしいコロケーションやフレーズを収録しています。

[C+1] **away** の前には距離・時間以外を表わす名詞も置かれる: Our team is **two wins away from** winning the championship. うちのチームはあと2勝すれば優勝だ。
..... **away** ㊦② (p.91-92)

[C+1] 後ろに in ... years や since などを使って「…年ぶり」という意味を表わすことがある: **for the first time in 10 years** 10年ぶりに / **for the first time since 2000** 2000年以来初めて。
..... **first** ㊦成句 **for the first time** (p.511)

[C+1] 所有格の the world's の後に最上級やそれに相当する表現を伴うと「世界一…な」を表わす: **the world's tallest** tower 世界一高いタワー。
..... **world** ① (p.1645)

センター試験対策にも効果的!

『ライトハウス英和辞典』なら、センター試験で問われる語彙・語法・文法などの基礎知識の確認にも効果的です。平成24年度に出題された問題の中から、いくつかの例をご紹介します。

第2問 次の問い(A~C)に答えよ。(配点 41)

A 次の問い(問1~10)の ~ に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。

問1 Some companies have a new policy of using English as the official in-house language.

- ① absorbed ② accompanied ③ adopted ④ appointed

※正解は③

ポイント ▶ adopt a new policy
「新しい方針を採用する」

policy (p.1072) ▶

*****pol·i·cy** /pɑ:(r)lɪsi | pɑ:l-/
— 名 (-i·cies /-z/) ① [C,U] (政府などの)政策, (会社などの)方針 (toward):

- コロケーション**
- abandon a policy 政策を放棄する
 - adopt a policy 政策[方針]を採用する
 - change (a) policy 方針[政策]を変える
 - establish a policy 方針を確立する
 - formulate a policy 政策を打ち出す
 - have a policy 方針[政策]を持つ
 - make (a) policy 政策を立案する
 - pursue [implement, execute, carry out] a policy 政策を実行する
 - reject a policy 政策を拒否[否定]する
 - stick to [follow, adhere to] a policy 政策[方針]に従う

time (p.1484) ▶

*****time** /taɪm/ (同音 thyme)

— 名
④ [the ~] (...する[した])時, ころ, 折:

語法 time の接続詞的な使い方
前に at, by, last, next, only などを伴い、後に節が続いて接続詞的に用いることが多い: At the time he called on me, I was just taking a shower. 彼が訪ねてきた時, 私はちょうどシャワーを浴びていた / By the time you arrive, I will have finished it. あなたが着くころには私はそれを終えているだろう (④)
④ 未来を表わす will を用いて will arrive とは言わない!

→p.1673 巻末文法 6. 1 (1) ③ にも出ています。

問3 Ms. Bell is stuck in a traffic jam. The important meeting will have finished by the time she

- ① arrives ② may arrive
③ will arrive ④ will have arrived

※正解は①

ポイント ▶ 時や条件を表わす副詞節では
未来のことでも現在時制で表わす

C 次の問い(問1~3)において、それぞれ下の語句を並べかえて空所を補い、文を完成させよ。解答は ~ に入れるものの番号のみを答えよ。

問1. "Did you install that computer software you bought last week?"

"Yes. And use."

- ① easy ② finding ③ I'm ④ it ⑤ to

※正解は②⑤ (I'm finding it easy to)

ポイント1 ▶ 現在進行形 be+V-ing

ポイント2 ▶ S+V+O+C

ポイント3 ▶ 形式目的語の it

find (p.507) ▶

*****find** /faɪnd/

— 動 (finds /faɪndz/; 過去・過分 found /faʊnd/; find-ing) (他)

④ (経験して・試してみても...)が(〜だ)と知る, わかる, 思う, 感じる: I found (that) it's the best way. [V+O((that)節)] それが最もよい方法だとわかった (多用構文) / I found the book easy. [V+O+C(形)] その本は易しいと(読んでみて)わかった。④ 次の文と比較: I found the book easily. その本は簡単に見つかった (Iの意味) // We found the money gone. [V+O+C(過分)] 金がなくなっているのがわかった / We found her to be very friendly. [V+O+C(to不定詞)] 彼女はとても親切だと思った (言い換え) They found it necessary to learn more about the issue. = They found it necessary that they (should) learn more about the issue. 彼らはその問題についてもっとよく知る必要があると感じた。
語法 it は to 以下または that 以下を受ける形式目的語; 動詞型は [V+O+C(形)] // "How did you find Switzerland?" "Fantastic!" 「スイスはいかがでしたか」「すばらしかったですよ」

問2 The entertainer was happily up in the air.

- ① arms ② her ③ raised
④ singing ⑤ with

※正解は⑤③ (singing with her arms raised)

ポイント1 ▶ 現在進行形 be+V-ing

ポイント2 ▶ 付帯状況の with の使い方

with (p.1635) ▶

*****with** /wɪð, wɪθ/ (強形) wɪð, wɪθ/

— 前

⑥ [付帯的な状況を示して] ...を[が]〜しながら, ~して, ~したままで; ...が〜しているので: Don't speak with your mouth full. 食べ物をほおぼったままで物を言うてはいけない / He sat reading, with his wife knitting in her chair. 妻がいすにすわって編み物をするかわらで彼は読書をしていた / With the exams coming next week, students were studying hard. 来週試験があるので生徒たちは一生懸命勉強していた / She spoke with tears in her eyes. 彼女は目に涙を浮かべて語った / She glanced at me with an uneasy look on her face. 彼女は不安の表情を浮かべて私をちらっと見た。

語法 付帯状況を表わす with 構文の使い方
(1) 普通は with+目的語+形容詞[分詞, 前置詞句] という構文をとる。

さらに充実した

「単語の記憶」

共通の語根を持つ単語を一箇所に集めてコラムにした「単語の記憶」は、単語力増強のためのツールとして長年ご好評をいただいています。『ライトハウス英和辞典』では1コラムに掲載する単語の数を10語以内に留めていますが、「単語の記憶」を活用することでさらに単語の世界を広げることのできる一例をここでご紹介したいと思います。

***vis·it /vɪzɪt/

— 動 (vis-its /-zɪts/; -it-ed /-tɪd/; -it-ing /-tɪŋ/) ④

単語の記憶	VIS/見る=see
visit (見に行く)	→ 会いに行く; 訪問
visible 目に見える	
vision (見ること)	→ 視力
visual 視覚による	
visa (見られた → 検査済み)	→ ビザ, 査証
revise (再び見る, 見直す)	→ 改訂する
super ^{vis} e (上から見る)	→ 監督する
advise (...を見る)	→ 意見を持つ → 忠告する

visit (p.1574)

「見る」という意味の語根を持つ単語にはこれら以外にも、例えば以下のようなものがあります。

evidence (はっきり見えるもの) → 証拠
 improvise (先を見ていない) → 即席で作る
 provide (先を見る) → 供給する; 用意する
 provision (先を見ること) → 供給; 用意; 食糧
 video ((私は)見る) → ビデオ
 visage (見える部分) → 容貌

このように、単語の背後にある「見る」という共通の意味を念頭に置くことで、複数の単語を効率的に覚えることができ、また記憶にも残りやすくなります。

新しい特色の

「ポライトネス」

とは?

NEW!

ポライトネスとは、円満な社会関係を維持・構築し、円滑なコミュニケーションを実現するための対人的配慮のことです。

このコラムでは、相手との関係や場面に応じた「適切な」英語の使い方が学べます。「文法的に正しい」から一歩進んだ、「丁寧で好印象な」コミュニケーションのマナーを身につけましょう。上下関係や親しさの度合いのほか、意図する行為がもたらす負担や利益の程度、義務の有無、緊急度、相手が応じる可能性の高さなど様々な要素を考慮し、詳しく解説しています。

I wonder if [whether] ... (1) ⑤ (丁寧) ...していただけるでしょうか (依頼); ...してもよろしいでしょうか (許可を求める): We couldn't catch a taxi. 「I was just wondering [I wondered] if you could give us a lift. タクシーが拾えません。乗せていていただけないでしょうか (⇒ be² A 1 (1) ⑧法)。

👉 依頼や許可を求める際に使う間接的で丁寧な表現. wonder を進行形や過去形にすることでさらに間接的になり、過去進行形の I was wondering if ... が最も控えめな言い方. 相手が断わる可能性が高いような場合(相手に大きな負担・迷惑がかりそうな事柄の場合や、相手が親しくない人である場合など)に用いることが多い。「相手が応じるのは当然」という態度を避けた、押しつけを弱めた表現 (依頼の表現については ⇒ could B 1 (4); 許可を求める表現については ⇒ can' 2 (2)): 「I was just wondering if you could possibly change the date of our appointment?」「Okay. When would be convenient for you?」「できれば約束の日にちを変更していただけないでしょうか」「いいですよ。いつが都合よろしいですか」「I have to give a speech in class next week, and I was wondering if you could help me with it. 来週授業でスピーチをしなきゃならなくて、それを手伝ってもらえたらと思ったんだけど」「I was wondering if [whether] I could take a day off next week.」「Again? You just took a day off last week.」「来週お休みを1日いただけないかと思っていたのですが」「また? 君は先週休暇を取ったばかりじゃないか」

◀ 例 ① wonder (p.1639)

親しい友達に依頼する例。比較的負担の重い頼み(相手が引き受けてくれるかどうかわからない)なので、遠慮がちに尋ねている。丁寧な言い方をするのは目上に対してのみとは限らないという点に注目!

目上の相手に対し許可を求める例。相手に迷惑がかかるかもしれないことなので、間接的に尋ねている。

例 ② should (p.1291) ▶

(4) [You should ... として; 勧め・誘いを表わす] ぜひ...してください (⇒ must' 4): It's a really good movie. You should see it. とてもいい映画なので、ぜひ見るといいですよ。

👉 相手にとって望ましいこと・楽しいことを積極的に勧めたり、誘うときに使う表現. 相手が断わらないことが予測できる場合の強い言い方: You should try this cake. It's really delicious! このケーキ、ぜひ食べてみてください。すごくおいしいですよ! / 「I haven't done much shopping lately.」「Oh, Meg and I are going to the mall tomorrow. You should join us if you're not doing anything.」「最近あんまり買い物してないなあ」「そうだ、明日メグとショッピングモールに行くんだけど、もし暇だったら一緒に行こうよ」

友達を積極的に誘う例。相手にとって望ましい内容なので強い言い方をしている。ひとつ前の相手の発言からも相手が誘いに応じる可能性が高いことがわかる。